

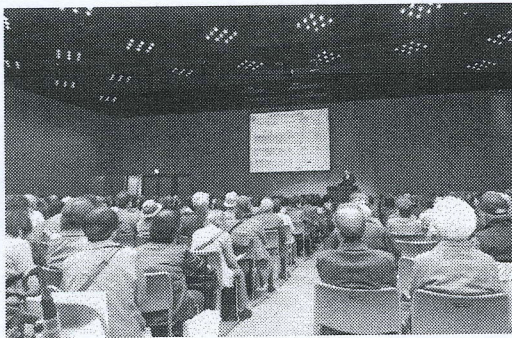
「体験入居」短期集中で

老人ホームの選び方伝授

関西地区の有料老人ホーム運営事業者有志によるイベント「有料老人ホーム大阪フェスタ2015」が3月21日、大阪市内で開催され、有料老人ホームへの入居検討者など900人以上が来場した。

自分の趣味嗜好を細かく記録し伝達

当日は22社・41ホームがブース出展し、自身のホームの魅力のアピールしたり、来場者からの質問に答えたりした。また、第一興商やケアファッションなど高齢者向けの商品・サービス



▲セミナーは大盛況

などを提供する事業者9社もブース出展した。

また、CSねっと企画の長嶺

堅二郎代表による「有料老人ホームの基礎知識」など、さまざまなセミナーやシンポジウムも開催された。

長嶺代表は、介護付有料老人ホームと住宅型有料老人ホームの違いや入居一時金・償却制度、人員配置と入居費用の関係性などについて解説。

「ホーム選びに際しては、比較のためにも最低でも3〜4程度のホームで体験入居をした方がいい。しかも、間を空けてしまおうと前に体験入居したホームのことを忘れてしまうので、で

きれば1ヵ月程度の間でまとめてやってしまった方がいい」

「ホームは、入居者個人のことをよくわかっていないと、その人に合った適切なケアができない。高齢者は、いつ自分の意志を伝えられなくなるかわからないので、早めに食事の好き嫌い、風呂は熱めとぬるめどっちが好きなのか、スポーツ選手や芸能人は誰のファンなのか、などを事細かく記録しておくべき」などとアドバイスした。

主催者では、来年も同時期に大阪での開催を検討している。